

アメリカ・ミシガン州駐在員便り

2008/11/17 駐在員：宮村 佐衣子

【JCMU オリエンテーション】

先週からミシガンは気温が下がり初雪が降りました。夜には気温がマイナスになりますが、屋内はセントラルヒーティングのため暖かく、寒いと感じることは少ないです。気温も下がりましたが、ガソリンの値段も下がり続け、今日(11/16)現在、1 ガロン約 2 ドル (1 リットル 50 円弱) のガソリンスタンドを多く見かけます。

今日は、ミシガン州立大学で来春 JCMU に入学する学生とその家族約 40 名を対象にオリエンテーションが開催されました。JCMU とは、彦根市にあるミシガン州立大学連合日本センター (Japan Center for Michigan Universities) のことで、ミシガン州と滋賀県の姉妹県州 20 周年を記念して 1988 年に設立協定が調印された施設です。毎年のべ 200 名の留学生がアメリカから訪れています。

オリエンテーションでは、最初に私から滋賀県とミシガン州の姉妹県州関係のこと、滋賀県の観光地などを紹介させていただき、その後、JCMU のコーディネーターから、ビザのこと保険のことなど渡航手続きや日本での生活について説明がありました。

参加者の家族からは、地震が心配だという意見もありましたが、参加者からは、学校以外の時間は何をして過ごすか、日本の食事はどうか、魚を生で食べて本当におなかが痛くならないか、など生活面での質問が多く聞かれました。



JCMU 卒業生からは、放課後にはカラオケやボーリングをしたり、休日には京都や大阪に出かけたりしたが、授業についていくのが大変なので、あまり遊んでいられないということでした。また、日本のカレーやピザ屋のペパロニピザはおいしいが、ツナ&コーンという不思議な味のピザがあること、ラーメンにもいろいろ種類があることに驚いたと言われていました。